

哲学の世界

責任者・コーディネーター	人間科学科哲学分野 林 研 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科哲学分野		
担 当 教 員	林 研 准教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 15 時間
期 間	後期		

・学修方針（講義概要等）

「人間とは何か」という問に対して、自然科学や社会科学は人間の持つ一つの特性に着目し、それを解明することでこの問に答えようとする。例えば、生物学であれば、遺伝子構造の観点から人間と他の動物の違いを説明し、経済学であれば、経済行動という観点から人間を説明する。他方、哲学は、こうした諸学の成果を踏まえながら、専門領域横断的に、トータルな人間の姿を描き出そうとする。「哲学の世界」では、このような哲学の試みの一つとして、心と身体、性、進化等をキーワードに、人間とはどのような存在なのかについて考える。

・教育成果（アウトカム）

「人間とは何か」という問いを導きの糸とし、諸科学の知見を参照しながら、人間という概念を組み立て直すことで、人間についての理解を深めることができる。また、そうして得られた人間についての理解を、現実の問題（死の基準、性差別など）に適用し、これらの問題に対して、合理的な根拠に基づいた自分なりの視座を形成することができる。（ディプロマポリシー：4）

・到達目標（SBO）

1. 人間の生や死を考える上で重要な概念（心、身体、性差、幸福）を説明することができる。
2. 人間とは何かについて、自分なりの考えを提示することができる。
3. 人間についての自分の考えと、現実の問題とを関係づけることができる。

・ 講義日程

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
9/5	木	2	哲学分野	林 研 准教授	はじめに 1. 哲学的に考えるとどのようなことかを説明できる。 事前学修：哲学について自分が抱いているイメージを箇条書きにする。 事後学修：講義で説明された哲学と、自分のイメージしていた哲学との違いを箇条書きにする。
9/12	木	2	哲学分野	林 研 准教授	哲学と科学 1. 哲学と科学（物理学、生物学、進化論など）それぞれの方法について説明することができる。 事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
9/19	木	2	哲学分野	林 研 准教授	心と身体（1） 1. 心と身体の関係について説明することができる。 事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。
9/26	木	2	哲学分野	林 研 准教授	心と身体（2） 1. 生と死の関係について説明することができる。 [C-1-1-2、C-4-1-1] 事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。

10/17	木	2	哲学分野	林 研 准教授	<p>心と身体（3）</p> <p>1. 心と身体および生と死の関係について説明することができる。 [C-1-1-2、C-4-1-1]</p> <p>事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p>
10/24	木	2	哲学分野	林 研 准教授	<p>まとめ 1</p> <p>1. これまでの授業内容を踏まえて、人間の心と体、生と死のあり方について自分の意見を述べることができる。 [C-1-1-2、C-4-1-1]</p> <p>事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p>
10/31	木	2	哲学分野	林 研 准教授	<p>性差と幸福（1）</p> <p>性差と幸福の関係について説明することができる。</p> <p>事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p>
11/7	木	2	哲学分野	林 研 准教授	<p>性差と幸福（2）</p> <p>幸福の基本的な概念について説明することができる。</p> <p>事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。 事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p>

11/14	木	2	哲学分野	林 研 准教授	<p>性差と幸福（3）</p> <p>幸福についての様々な考え方を説明することができる。</p> <p>事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p>
11/21	木	2	哲学分野	林 研 准教授	<p>まとめ 2</p> <p>1. これまでの授業を踏まえて、性差と幸福のあり方について自分の意見を述べるができる。</p> <p>事前学修：配布資料の問題について疑問点を箇条書きにする。</p> <p>事後学修：講義を通じて理解できた疑問点に対する解答をまとめる。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	指定教科書はありません。			

・成績評価方法

原則として以下のように成績を評価する。
 平常点 20%（毎回の受講態度＋毎回の課題）＋レポート課題 80%

・特記事項・その他

本講義では、講義内容の理解を深めるため、毎回受講生に課題を出し、関連するテーマについて各自の考えをまとめてもらう。また講義についての疑問点等がある場合は、合わせて記載し、提出してもらう。課題の内容や疑問点の内容については、次回の講義の中で適宜とりあげ、解説を行う。レポートの結果については、講評および全体的に理解度の低かったポイントにかんする解説文を WebClass に掲載し、特に内容が不十分であったレポートについては個別に指導を行う。

なお、各回配布される資料を用いて、事前事後学修を行うこと。事前事後学修の時間はそれぞれ最低 75 分とする。

形成的評価として、上記のように講義毎の提出物等で理解度を確認し、フィードバックする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン	1	講義資料作成、他